

★医師が記入した「意見書」(診断書)が必要な感染症

<b>&lt; 意 見 書 &gt;</b>		
あゆみ保育園	組 園児氏名 _____	
病名「 _____ 」		
年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と認めます。		
年 月 日		
医療機関 _____		
医 師 名 _____		印またはサイン _____

※「意見書」はこのページをコピーしてお使いください。

また、あゆみ保育園のホームページの「保健」からもダウンロードすることができます。

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行はできるだけ防ぐことで、子どもたちが一日快適に生活できるよう、保育園児がよくかかる下記の感染症につきまして意見書(診断書)の提出をお願い致します。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活に可能な状態となつてからの登園であるよう、ご配慮下さい。

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱した後3日を経過するまで
インフルエンザ	発症24時間前から後3日間が最も多く、通常7日以内に減る	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで
風しん	発しん出現の数日前から後5日間くらい	発しんが消失するまで
水痘(水ぼうそう)	発しん出現2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化するまで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症2日前から耳下腺腫脹後5日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
結核		病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱・充血など症状が出現した数日間	主要症状が消退した後2日を経過するまで
流行性角結膜炎	充血・眼脂など症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
腸管出血性大腸菌 感染症(O157など)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの

★医師の診断を受け、保護者が記入する「登園届」が必要な感染症

<h2 style="margin: 0;">＜登園届＞</h2>	
あゆみ保育園	組 園児氏名
病名「 <span style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 60%;"></span> 」	
年 月 日 医療機関「 <span style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 60%;"></span> 」において、 症状も回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。	
保護者（ <span style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 60%;"></span> ）印又はサイン	

※「登園届」はこのページをコピーしてお使いください。

また、あゆみ保育園のホームページの「保健」からもダウンロードすることができます。

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行は出来るだけ防ぐだけでなく、子どもたちが一日快適に生活出来るよう、保育園児がよくかかる下記の感染症について、登園の目安を参考に、かかりつけ医の診断に従い「登園届」の提出をお願い致します。子どもの回復状態が保育園での集団生活に適応できる状態に回復してからの登園であるようにご配慮下さい。

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1～2日間	抗菌薬内服後24時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑 (りんご病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
感染性胃腸炎 (ノロ、ロタ、 アデノウイルスなど)	症状のある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排泄している ので注意が必要)	嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄している ので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹(ヘルペス)	水泡を形成している間	水痘と同様
突発性発疹		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと